

# 自治労きよと

発行所・自治労京都府本部 〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F  
TEL.075-252-5932・FAX.075-231-4918 発行人・木村幹雄 編集人・乾 浩朗  
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

5 / 21  
2002  
第411号

## ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみならずのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。  
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918  
E-mail: jichiro@po.media-net.ne.jp  
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/

## 不況打開の決意新たに

### 自治労 峰山町で丹後地域メーデー

▶400人が参加した  
丹後地域メーデー



五月一日午前九時三十分から、峰山町の日進製作所で第七十三回連合丹後地域メーデーが開かれ、曇り空の中、九団体から約四百人が参加した。

### 9団体400人が参加 曇天のためデモは中止に

各団体がそれぞれのメッセージを描いたプラカードを掲げる中、谷口雅昭実行委員長が今春の報告や雇用の確保を訴え、その後「働くもの



### 福知山市職労発

## プラカードに雇用不安が反映 福知山地協メーデー 危機感を強く訴え

「労働を中心とする福祉社会の実現」をメインスローガンとする第七十三回福知山地協メーデーは、五月一日午前九時三十分から福知山市厚生会館で開かれた。連合京都福知山地協協議会と長田野労働者連絡協議会の主催による式典には三十

一単組千五百人が結集した。メーデー宣言では「働く仲間が日本を元気にする」とし「リストラに名前をかりた安易な雇用調整を断じて許してはならない」とした雇用危機突破特別決議を採択。長引く景気の低迷を受けて、例

年になく雇用不安に危機感を強く訴えるメーデーとなった。とくにサプスローガンは「首切りNO!仕事よこせ」との強い訴えがされるなど危機感が強調されたものとなった。

毎年行われているプラカードコンテストも雇用確保や景気回復を訴えるものが目立ち、景気低迷や雇用不安などの事態の深刻さが反映された形となった。



▲2万人の参加者を前にあいさつする羽室連合会長

式典開会前、官公部門連絡会が「民主的な公務員制度改革」を訴えるビラを配布。国保労組も独自で「健康保険法改悪と審査支払業務一本化に反対する」ビラを配った。

## 働く仲間が日本を元気に

### 野田川町職発 宮津地域メーデーに500人



第七十三回連合京都宮津地域メーデーが約五百人の参加で開かれ、私たちが野田川町職も参加した。今回のメーデーでは「平和・人権・労働・環境」をキーワードに、核兵器の廃絶、戦争のない二十一世紀、人権の二十一世紀、地球市民がともに手を取り合って生きる二十一世紀、雇用不安や将来不安がない公正で公平な社会の実現をめざし果敢に挑戦していくことと、そして第七十三回メーデーを通じて「働く仲間が日本を元気にする」と

五月一日の第七十三回南山城地域メーデーは、朝から雨に見舞われたため、会場を宇治市の太陽が丘運動公園の野外ステージから、隣接する体育館前に変更して行われた。参加人数は約二千五百人。

自治労京都を含む連合京都は、京都府の、ひいては南山城地方の発展のため、厳しい雇用情勢が続く中であっても、より一層の充実した運動を展開していくことを再確認し「団結ガンパロー」で締めくくった。

「京の三名水」や天橋立に湧く「磯清水」など名水に数えられる湧き水が多く、水とは縁の深い土地柄でもある▼そして来年三月には「第三回世界水フォーラム」が京都を中心に開催される。全世界では三分の一の人が安全でない水での生活を余儀なくされていると言われているが、普段何気なく使っている水を見直す機会として、積極的に参加してはどうだろうか。

## 京都中央メーデー

# 雇用確保へ組合員の手を結集

## 京都市 美術館前 官公部門連絡会、国保労組がビラ配布

第七十三回メーデーは府内九会場で開催され、三万人が参加。完全失業率が全国平均より高い京都で、雇用危機突破へすべての労働者が力と行動を発揮することを誓った。

第七十三回京都中央メーデーは京都市美術館前で開かれ二万人が結集。自治労は新規加盟の埋文研労組をはじめ市内単組の二千人が参加した。

をつくることを求められている。組合員の手を結集して国や自治体、企業に雇用の確保を訴える必要がある」と述べた。続

いて雇用危機突破特別決議、メーデー宣言を採択後、二コースに分かれて京都市役所までデモ行進した。

## 南山城地方の発展へ全力

### 雨の中2500人が団結ガンパロー



▲雨のため会場を変更して行われた南山城地域メーデー

### 八幡市 職労発 南山城地域メーデー プラカードコンクール実施

梅雨を思わせるような長雨が降り続けている。梅雨を旧暦で「五月雨」とも言い、沖繩や奄美地方は今年十月に梅雨入りしたそうだし、この長雨も仕方ないと思いつつ、うとうとし季節だ▼雨が多すぎても少なすぎても困るとは勝手なものだが、「春雨」なんて言う言葉は万葉の昔からあったぞうだから日本人にとって、各季節に降る雨と生活は切っても切り離せないものなのだろう。雨の名前も、今頃の雨に「青葉雨」や「雨瀧」というのがあろうぞう▼雨を表す言葉が多いのも、水が私たちの生活を支えているからにはほかならない。

火災・風水害・地震  
ワイドに保障します。

自然災害保障付  
火災共済  
火災共済+自然災害共済  
主な保障内容

火災など 6000円	風水害など 3300円	地震など 1020円
---------------	----------------	---------------

じしろ共済

# 指す手に思いこめ対局

## 府本部第5回囲碁将棋大会 優勝者ら地連大会へ

五月十一日、府本部会議室を会場にして開いた府本部第五回囲碁・将棋大会には、日ごろの練習の成果を試そうと囲碁に四人、将棋に十人が参加した。

今回も初心者に参加しやすいように地連大会に準じた上級・中級・初級のクラス別対戦として募集したが、囲碁ではクラス別対戦が組めず、主催者側にとっては少し残念な結果となった。

対局は、当初はトーナメント戦で行う予定だったが、参加者の人数が予想よりも少なかったことから、囲碁・将棋とも総当たり戦で行われることになった。

▼14人が参加し、総当たり選で行われた府本部囲碁将棋大会



「夫婦で一緒に！」と始めた趣味が社交ダンス。今では「競技ダンス」の道に進んで早くも七年余り。映画「ジャル・ウィ・ダンス？」やウリナリの芸能人社交ダンス部でご存知の方も多いのでは。



## 夫婦で "Shall We Dance?"



山城町職 植村 和正さん

競技大会への出場には数カ月からの練習が必要で、夫婦での競技をうらやむ方もいます

力があがり、表彰式で夫婦の名前を呼ばれた時は、続けていてよかったとつくづく思います。特に昨年は念願であった「三等賞杯全日本選手権」へ出場、ダンスを通じてさまざまな経験や感動、そして多くの仲間もできた年でした。

今の夢は、二十年後のねんりんピック出場までダンスを長く続けること。相変わらずけんかや練習に汗を流す今日この頃です。



## 女性の権利確立 歴史学び有意義

四月二十、二十一日に東京で開かれた「自治労はたらく女性の集い」へユース職組女性部から二人が参加しました。

今回の集いでは「四十年の歴史に学ぶ」というテーマで「婦人部の果たしてきた役割」「女性の権利を確立してきた歴史」などについて

いて学び、「母性保護と生理休暇」の講演、分科会での意見交換が行われました。「働き続けられるための権利確立と母性保護」の分科会では、生理休暇取得時の代替職員配置、昇格制度の男女差をな

くす運動、育児休暇取得後の昇給延滞を復元させる運動などの報告があり、とても勉強になりました。

私たちが職場では、初めて育児休暇後に復帰する職員がおり、働き続けられる諸制度を整えているという話をしたところ、育児復帰後の部分休業や年休の時間取得について教えていたなき、参考にになりました。今後の取り組みに生かしていきたい。

（ユース職組女性部）



▲青年部と城南衛管労組が出店した古本市

## 環境保全を身近なテーマに

### 山城大橋河川敷で木津川まつり リサイクル考え青年部古本市が盛況

四月二十八日、京都府綴喜郡にある山城大橋の河川敷で木津川まつりが開かれた。木津川まつりは、京田辺市の商工会が主催となり、環境保全をテーマとして、リサイクルを考え、木津川の自然に親しんでもらう目的で行われている。この木津川まつりに青年部は、古本市を城南衛管労組と共同で出店した。

当日は晴天に恵まれ四月にもかかわらず暑い一日となったが、ゴールデンスウィーク最初の日曜日

ということもあり、多くの家族連れでにぎわった。会場では、子どもたちのために魚づかみ大会、毎年恒例のダンボールいかた大会などが行われ、それぞれ大盛況となっていた。青年部の古本市も盛況で約七割を販売することができた。

しかし、環境保全やリサイクルの趣旨とほらほらに、大量のごみをポイイスカウトの子どもたちが拾っていたことに疑問を感じた。私自身も環境問題について考えるき



マクナム・フォト創設 55周年記念写真展SMILE & SMILE 100のほほえみ

▼期間/五月二十三日(木)～六月十六日(日)  
▼会場/美術館「えき」KYOTO(京都伊勢丹七階)▼開館時間/午前七時～午後七時、六月四日休館▼入場料/一般七〇円、高・大学生五百円、小・中学生三百円▼〇七五(三五二)一一一一

## 労働環境の変化にどう取り組むか

連合京都女性委員会・青年委員会連続講座 (参加者募集中)

〈1回目〉  
とき 5月31日(金) 午後6時30分  
ところ ラポール京都4階第8会議室 (京都市中京区四条通御前西入)  
講演内容 「男女労働のあり方を問う」日本の経済と雇用情勢の経過をふまえ、女性労働の現状を分析、課題解決へ提言する。  
講師 竹中恵美子さん 経済学博士、大阪市立大学名誉教授、大阪ドーンセンター館長、労働市場およびジェンダー社会労働問題研究、現代日本の女性労働の研究に関する第一人者

〈2回目〉  
とき 6月21日(金) 午後6時30分  
ところ ラポール京都4階第8会議室  
講演内容 「パート労働のこれから」  
講師 三山雅子さん (同志社大学助教授)



とんでもない 政・官・業ゆ着や天下りを止めさせ 一人5人分の署名を！  
透明で民主的な公務員制度改革を実現しよう。

官僚と政治家とのゆ着、不祥事の続発など行政がゆがめられ私物化がまかり通っています。政府の「公務員制度改革大綱」は、こうした問題にメスを入れず、逆に特権的官僚制度を温存し、天下りを緩和するなど改革とはほど遠いものです。大綱を撤回し、労働基本権を保障した公正・透明で国民のためになる公務員制度改革を実現するための署名運動に取り組んでいます。

自治労「大綱」撤回へ、1000万人署名を成功させよう